

すべての学びの基礎として、教養を身につける
社会に出ると、どのような分野においてもたくさんの知識が求められます。
それらを自分の糧として身につけるためには、幅広い教養が必要です。

基礎教育科目

建学の精神

グローバルな視野を養成するために、多様な問題に関わる世界事情についての正確な知識が必要です。そのためのキリスト教精神にもとづく「世界の市民」に必要な基礎知識を習得します。

開講科目例

- キリスト教と桃山学院大学
- 世界の市民

学びの基礎

他社とのコミュニケーションを図る方法や、学業や社会活動で必要となる基礎的なアカデミックスキルを学びます。

開講科目例

- <リテラシー>
- 大学レポート入門
- IT 基礎
- <外国語科目>
- 英語

教養教育科目

現代社会において、「地域で、世界で、人を支える」役割を担う人材となるには、様々な知識、歴史・文化背景に精通した教養をもとに、多様な領域を横断し、全体性の観点から考察し、行動できる能力が必要とされます。基礎的な教養科目や学部・学科の科目を展開し、自身の関心やひつように応じて、自分の所属する学部・学科以外の学問領域においても、学びを深めることができます。

開講科目例

- <人間への着目（人文科学）>
- キリスト教学
- 文学 ■考古学概論
- <社会への視点（社会科学）>
- 法学 ■経済学
- 国際会計論
- <科学への扉（サイエンスとテクノロジー）>
- 健康・スポーツ科学
- 心理学 ■IT 活用
- <未来への挑戦（学際・複合領域）>
- キャリア教育
- TOEIC ■生涯学習概論